

「手づくり郷土賞」認定証伝達式を開催します

～新川さくら並木連合町内会が一般部門を受賞～

平成30年度「手づくり郷土（ふるさと）賞」（国土交通大臣表彰）の認定証伝達式を以下のとおり開催します。

伝達式では、北海道開発局長から受賞団体（新川さくら並木連合町内会）に認定証及び副賞の楯をお渡しします。（式次第は「別添1」参照）

なお、伝達式には手づくり郷土賞選定委員会の鈴木伸治委員長（横浜市立大学国際総合科学部教授）に参加いただき、御講評をいただく予定です。

国土交通省では、地域の魅力や個性を創出している社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動が一体となった成果を「手づくり郷土（ふるさと）賞」（別紙「参考資料」参照）として表彰しています。

平成30年度は全国各地から応募のあった53件（一般部門47件、大賞部門6件）の中から、23件（一般部門20件、大賞部門3件）の優れた取組が選定され、一般部門で新川さくら並木連合町内会が選定されました。（活動の詳細は「別添2」参照）

【認定証伝達式】

受賞件名：新川夢の桜並木事業 ～先人達の夢を実現～

受賞団体：新川さくら並木連合町内会

日時：平成31年2月15日（金）13：15～

場所：札幌第1合同庁舎 10階共用第3・4号会議室（札幌市北区北8条西2丁目）

※伝達式（認定証伝達・副賞贈呈）は公開で行います。取材を希望される方は、「別添3」の申込書により2月14日（木）12時までにお申し込み願います。

※取材される場合は、伝達式開始時間の5分前（13：10）までに会場にお越しください。

※記念撮影終了後に、受賞団体との取材時間をご用意します。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

開発監理部 開発調整課 課長補佐 新妻 憲嗣（内線 5475）

開発監理部 開発調整課 上席開発計画専門官 木村 康一（内線 5470）

北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/>



平成30年度「手づくり^{ふるさと}郷土賞」認定証伝達式

受賞件名 新川夢の桜並木事業 ～先人達の夢を実現～

受賞団体 新川さくら並木連合町内会

日 時：平成31年2月15日(金)13:15～13:35
場 所：札幌第1合同庁舎 10階共用第3・4号会議室
(札幌市北区北8条西2丁目)

1. 開 式
2. 認定証伝達・副賞贈呈（北海道開発局長）
3. 挨拶（北海道開発局長）
4. 講 評（手づくり郷土賞選定委員長）
5. 閉 式
6. 記念撮影

新川さくら並木連合町内会

①社会資本の概要

北海道札幌市を流れる新川は、市街地西部から日本海に流れる全長12.5kmの二級河川です。明治20年頃に運河を兼ねた大排水事業として、囚人達により造り上げられた直線の人工河川で、整備により琴似発寒川等の氾濫や低湿地帯が解消し開拓されてきました。

やがて、開拓された農地は宅地・商工業地化が進みましたが、一方で他の地域に比べ誇れるものが見当たらないとの先人達の思いがあり、新川堤防沿いに桜並木を実現し誇れる街にしたいとの夢と熱意から桜並木が整備されました。



春先の新川さくら並木



琴似川・新川・琴似発寒川の合流地点

②取組の背景、取組概要と創意・工夫

昭和40年代「特色の少ない新川に何か誇れるものを」との先人達の思いから始まった桜並木の構想が30年以上の歳月を経て平成12年に実現しました。「地域の人々が集い憩えるものを創り、郷土愛の醸成につなげたい」と地元住民や企業から寄付を募り平成10年から桜の苗木755本を植樹しました。新川沿いは日本海の石狩湾から冷たい風の影響を受ける地であり、-20℃でも越冬できる桜を植えるなど工夫を凝らし、今では立派な桜並木を形成し、

札幌を代表する桜の名所の一つとなっています。桜は、植えた後の維持管理も大切に、エゾヤチネズミの被害で現在までに100本程度の植え替えを行っています。また、病害防除のための薬剤散布、育成調査を町内会を中心とする地域の方々で実施するとともに、開花時期に合わせて町内会の行事として清掃活動やウォーキング大会を実施し、桜に親しむ活動をしています。



平成10年から3年かけ植樹が完成



桜並木の美化清掃活動



ウォーキング大会

③活動の成果や波及効果等

平成13年から始め、今年で18回目を迎える「新川さくらフェスティバル」は、連合町内会が開花時期にあわせ実施し、清掃活動やウォーキング大会には300名を超える参加者が集い、音楽祭には1500名程が会場を訪れるイベントになりました。また、最近では小学生への地域学習活動を行い、桜並木を通じた郷土愛の醸成に努め、これらの活動が広がりを見せています。今年、植樹20周年を記念して行われたライトアップには地域の内外から多くの方が訪れて感動を呼び、桜並木は新川の名所から札幌の名所へと波及しています。



新川さくらフェスティバル音楽祭



小学校での地域学習活動



キャラクター「ちえりばー」いつまでも綺麗な川と桜をイメージ



植樹20周年を記念し開催したライトアップ

喜びの声



<受賞者>

新川さくら並木連合町内会
会長 佐久間五十也

<コメント>

この度は「手づくり郷土賞」に選定いただきありがとうございます。今までの活動が地域の誇りを創り出した証となりました。これからも子供達とさくら並木を大切に目を守っていきます。小学校での学習活動で目をキラキラさせて参加してくれる3年生に今年も会えることを楽しみにしています。

<活動内容>

桜並木の景観保全活動や関連活動、地域学習活動など

<活動の経緯>

- 昭和51年 河川法により桜植樹断念
- 平成9年 河川法改正
新川連合町内会で桜並木造成事業の推進を決定
- 平成10年 植樹開始
- 平成12年 植樹が完了し翌年から清掃活動等の記念行事実施
- 平成30年 植樹20周年記念
桜ライトアップ事業

- ◆所在地
北海道札幌市北区北23条西14丁目から日本海河口付近まで
- ◆活動主体及び連絡先
新川さくら並木連合町内会
(011-762-2604 新川まちづくりセンター)
- ◆対象となる社会資本
2級河川新川水系 新川、琴似川
※管理者：北海道



北海道開発局 開発調整課 宛 (FAX 011-709-9215)

申込書（報道関係者）

平成30年度手づくり郷土賞認定証伝達式

日 時：平成31年2月15日(金) 13:15～

場 所：札幌第1合同庁舎 10階共用第3・4号会議室

受賞件名：新川夢の桜並木事業 ～先人達の夢を実現～

受賞団体：新川さくら並木連合町内会

氏 名

住 所

所属（会社名等）

連 絡 先

※ご提供いただいた個人情報は、平成30年度手づくり郷土賞認定証伝達式に関する連絡以外では使用しません。

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。平成30年度で33回目。

【一般部門】

はじめて「手づくり郷土賞」の受賞を目指す団体から表彰

【大賞部門】

過去に「手づくり郷土賞」を受賞し、その後の活動が拡充した団体を表彰

(参考) 平成30年度手づくり郷土賞応募要領は以下のURLをご参照ください。
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/entry/boshuu/bosyu.pdf>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（平成30年度）

委員長	鈴木 伸治	横浜市立大学国際総合科学部 教授
委員	河野 まゆ子	株式会社JTB総合研究所 主席研究員
委員	関 幸子	株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
委員	田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
委員	平野 龍平	富士急行株式会社 社長室アドバイザー
委員	福井 恒明	法政大学デザイン工学部 教授

(敬称略)